

（表）

防火対象物工事等計画届出書

年 月 日

弘前地区消防事務組合消防長 殿

届出者

住所

電話 ( )

氏名

印

下記のとおり、防火対象物の設置に係る工事等をするので、条例第55条第1項の規定に基づき届出ます。

敷地の概要	名称				
	所在地				
	防火地域		用途地域		
	敷地面積				
防火対象物の概要	工事等場所				
	工事等開始日		使用開始日		
	工事等種別				
	用途				
	面積等	建築面積	m <sup>2</sup>	延べ面積	m <sup>2</sup>
	構造・階層				
設計・施工者	設計者	住所	電話 ( )		
		氏名			
	施工者	住所	電話 ( )		
		氏名			
※ 受付欄		※ 審査結果		※ 経過・備考欄	
		消防法令等に 適合する・適合しない 年 月 日 審査者			

(裏)

工事等の概要	
配 置 図	
<p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 届出者が法人の場合、氏名欄にはその名称及び代表者氏名を記入すること。</li><li>2 同一敷地内に管理権原が同一である2以上の防火対象物がある場合は、主要防火対象物等のみを本届出書とし、他は防火対象物の概要欄を別紙として防火対象物ごとに作成し、添付することができる。</li><li>3 ※欄は記入しないこと</li><li>4 工事等の概要欄には具体的な工事等の概要を記載すること。</li><li>5 配置図欄には、防火対象物の配置図を記載すること。ただし、本届出書に配置、案内図等を添付する場合は記載を省略することができる。</li></ol>	

(表)

記入例

防火対象物工事等計画届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

弘前地区消防事務組合消防長 殿

届出者

住所 〇〇市〇〇丁目〇〇番地〇〇

電話 〇〇(〇〇)〇〇〇〇

氏名 〇〇 〇〇 ㊟

下記のとおり、防火対象物の設置に係る工事等をするので、条例第 55 条第 1 項の規定に基づき届出ます。

敷地の概要	名称	工事等を行う建築物が存する土地に名称がある場合はその名称。		
	所在地	工事等を行う建築物の住所。		
	防火地域	「準防火地域」等	用途地域	都市計画法に定める用途地域
	敷地面積	敷地面積を記入		
防火対象物の概要	工事等場所	工事を行う場所を具体的に記入する。		
	工事等開始日	工事開始年月日	使用開始日	概ね什器搬入をする年月日
	工事等種別	工事の内容（増築、修繕、模様替え、間取り変更、用途変更等）		
	用途	消防法施行令別表第一に掲げる区分及び具体的な形態。※ 1		
	面積等	建築面積 〇〇〇,〇〇 m <sup>2</sup>	延べ面積	〇〇〇,〇〇 m <sup>2</sup>
	構造・階層	例：鉄筋コンクリート造 地上5階、地下1階。		
設計・施工者	設計者	住所	〇〇市〇〇丁目〇〇番地〇〇電話〇〇(〇〇)〇〇〇〇	
		氏名	〇〇 〇〇	
	施工者	住所	〇〇市〇〇丁目〇〇番地〇〇電話〇〇(〇〇)〇〇〇〇	
		氏名	〇〇 〇〇	
※ 受付欄		※ 審査結果		※ 経過・備考欄
		消防法令等に 適合する・適合しない 年 月 日 審査者		※ 1 不明な場合は受付時に 確認して下さい。

(裏)

工事等の概要	工事の内容を具体的に記入する。
配 置 図	
工事建物等の配置状況を記入する。なお、配置図を添付する場合は、「添付図書参照」と記載し、ここに記入する必要はないものとする。	
<p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 届出者が法人の場合、氏名欄にはその名称及び代表者氏名を記入すること。</li><li>2 同一敷地内に管理権原が同一である2以上の防火対象物がある場合は、主要防火対象物等のみを本届出書とし、他は防火対象物の概要欄を別紙として防火対象物ごとに作成し、添付することができる。</li><li>3 ※欄は記入しないこと</li><li>4 工事等の概要欄には具体的な工事等の概要を記載すること。</li><li>5 配置図欄には、防火対象物の配置図を記載すること。ただし、本届出書に配置、案内図等を添付する場合は記載を省略することができる。</li></ol>	

